

平成29年度 事業計画(成果)

公益社団法人隊友会 鹿児島県隊友会

1 全般成果概要

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動並びに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業、及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の定着充実により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図り、併せて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。の方針の下会長を核心とした各グループの各事業、特に県主要事業である安全保障フォーラムは、年度計画を大きく変更しての開催等、積極的な取り組みと、県・支部・会員の一体的な活動により予期の成果を収めた。

2 基本事業・重点事業等の主要成果

(1) 総務・組織の事業総括

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 正会員

入会者数50名 (陸39、海9、空2)

(イ) 家族会員の増勢

・入会者12名 現在会員数107名
・28年度比 -1名
全支部加入率10%追求

(ウ) 会員の定着率向上

・新入会員の安心・不安解消の為、各支部の特性に応じて創意を尽くした活動をきめ細かく実施すれば必ず成果がある事を周知して会員の仲間意識と会活動への参画意識の増進による退会者の抑制に努めた。しかし未だ成案は無し。地道な活動を継続。

イ 組織の改編・強化

(ア) 新支部等の結成促進(新規無し)

奄美地区活性化、阿久根・湧水を重視

(イ) 役員後継者の育成・登用

幹部出身の偏り是正の為、准・曹出身者の登用に留意

ウ 会務運営の効率化

定期総会成果 5.14(日)

総会、防衛講話、懇親会の3部構成

総会102名、防衛講話(講師:1空群)

・始良市総合防災訓練(始良・加治木)
・国民保護訓練(徳之島:会員2名参加)
・鹿県・鹿市国民保護図上訓練(県)

(3) 部隊等支援・協力諸団体・親睦

ア 部隊等支援

(ア) 訓練・国際貢献活動・災派等の協力支援

○ 激励・慰問・歓迎行事等参加

・海賊対処活動(鹿屋帰国、出国、都城帰国、鹿屋帰国)

・中央音楽隊演奏会協力

・12普4中行進訓練(始良・加治木)

(イ) 部隊等との交流の拡充

・意見交換会の実施

鹿地本、鹿屋、川内

隊友会活動の説明、隊友会との連携・協力の深化、入会促進

◎ 当意見交換会により自衛隊協力者会同へ隊友会も参加となる

・賛助会員への広報

各駐屯地等設置の「隊友会PRコーナー」に「隊友さつま(新聞)」等を掲載

イ 予備自衛官等の支援

記念品等の提供(招集訓練時)

・体力検定・射撃優秀者へ付与

・参加者全員に対記念タオル配布

ウ 殉職隊員等の慰霊顕彰・援助

(ア) 殉職者慰霊

・県出身殉職者慰霊祭

9.9 県護国神社にて開催

・各基地等追悼式に県会長等参加

(イ) 戦没者慰霊

・主要な戦没者慰霊祭に会長参加

・支部で墓地清掃活動、慰霊祭等に参加

エ 親睦・福祉厚生

(ア) ディフェンスさつまゴルフ大会(10.14)

46名参加(大隅CC)

(イ) グラウンドゴルフ大会(11.23)

・38個チーム200名(さつま町)

(ウ) 囲碁大会(2.12 国分福祉センター)

・第8回大会に 40名参加



防衛協力諸団体の紹介

1月28日、城山観光ホテルにおいて、平成30年防衛協力諸団体合同賀詞交歓会が開催され、

賀詞交歓会 盛大に開催

防衛協力諸団体

た。本交歓会は、例年通り自衛隊鹿児島地本の全面的な支援の下、円滑に進められた。

出席者は国会議員、県市町村の首長、議員、及び自衛隊から第1航空群司令、第12普通科連隊長、第9警戒隊長、地方協力本部長の他、県内所

在部隊の指揮官等、並びに主催者側として防衛協力諸団体の関係者が多数参加し、終始盛大に行われた。

国歌斉唱後、発起人を代表して鹿児島県防衛協会会長の三反園知事の挨拶があった。さらに自衛隊の部隊を代表して第1航空群司令の中村海将補から日頃の支援に感謝を述べられた後、先日報道があった北朝鮮の船への物資積み替え事案は、鹿屋のP13Cが発見したとの紹介があった。

祝電披露に続き、隊友会の村山会長が、昨年実施した「安全保障フォーラム in 鹿児島」への協力に對して感謝を述べられたあと、乾杯の音頭で伊藤会長の万歳三唱で閉会となった。

次に県議会防衛議員連盟会長の鶴園氏から祝辞の他、昨年7月に本連盟を発足させたとの紹介があった。さらに自衛隊の

来賓として、宮路衆議院議員、野村、尾辻参議院議員がそれぞれ祝辞を述べられた。特に憲法改正について発言があり、論されることになると思われる。

2 G p副会長平原誠記

乾杯の音頭(会長)



発行 鹿児島県隊友会
発行責任者 村山文彦
印刷 (株)新生社 鹿児島市七ツ島

国民保護訓練 (同上)に参加

鹿県・鹿児島市

平成30年2月13日 県庁2階大講堂において平成29年度国民保護(図上)訓練が実施され、市防衛関係者・自衛隊・警察・消防等約100人が参加し、鹿児島県隊友会が会長以下7人(内女性会員含む)が本訓練に参加した。

鹿屋市において、隊友会が実施した「隊友さつま(新聞)」等を掲載した。各駐屯地等設置の「隊友会PRコーナー」に「隊友さつま(新聞)」等を掲載した。

メデイア掲載 鹿屋中央支部

① 某週刊誌の記事によると、スウェーデンが今年1月に徴兵制を復活させた。近年ロシアのクリミア半島占領、バルト3国に対する軍事的圧力、バルト海における演習等に脅威を感じ復活させたとの事。

我が国周辺の厳しい安全保障環境に對して「安保法制」制定された際に左翼政党や団体が「徴兵制の復活阻止」子供を戦場にやるな」と声を高に叫んで反対した。これ等の政党等は現代戦の実相を本心に理解しているのだろうかと思わらざるを得ない。

回想線

六十余年の歴史を刻む自衛隊の誇れる財産の一つが、教育訓練だと言えるでしょう。▼戦前の「スズメの学校」(公手をふりふり)、「戦後の「刃ダカ」の学校(だれが生徒か先生か)」とその歌詞から押捺されますが、自衛隊の教育に着目して、自衛隊という学校」という本の著者は、荒木肇さんという東京にお住いの教育者です。これぞ真の人間教育の場であり素晴らしい教育だ」と総括されています。▼かつて、私が自衛隊山口地方連絡部長時代、三月の入隊激励会に来賓で来られた下関市内の校長先生が「私は教員になる前、二年間自衛隊に居ました。①時間を守ること、②大きな声を出すこと、③整理整頓の三つを身につけました。これは私の人生の糧です。」と祝辞の中で述べられました。▼大卒者でも「おいの最終学歴は自動車学校」という方がおられますが、学生時代より真剣に勉強し、礼儀や身に着けたという自衛隊OBの最終学歴は「自衛隊という学校」だと胸を張って言えると思えます。▼今年も桜の開花とともに、多くの若者が自衛隊の門をくぐり国分駐屯地の教育部隊などで新隊員教育に臨んでいます。全員が無事卒業されんことを祈念します。 村山文彦 記



筆者 岩切康氏

我が国周辺の厳しい安全保障環境に對して「安保法制」制定された際に左翼政党や団体が「徴兵制の復活阻止」子供を戦場にやるな」と声を高に叫んで反対した。これ等の政党等は現代戦の実相を本心に理解しているのだろうかと思わらざるを得ない。

兵装システムが高度にIT化され、操作にはまた高度な知識・技能が要求され、徴兵された素人では全く役に立たないのだ。また、防衛予算の些少の増加にも目くじらを立てるのに、徴兵制の維持には多大の予算が掛る事も判っていない。

鹿屋中央支部 岩切康 記

せごどんの戦跡巡り

大量堡塁跡確認

地元歴史研究家の同級生から、彼等が調査中の西南の役の堡塁群について、解説協力依頼があった。彼は、私が戦術の専門家と何故か信じている貴重な友。ここは友人と即了解！

出番は、彼等主催の史跡巡りツアー時とのこと。2月半ば。ツアー当日好天気。応募者約20人場所は、踊地区。現牧園町麓。肥薩線霧島温泉駅から下り線沿い東側約

堡塁群調査中の川井田支部長

4km四方。確認堡塁が約300個展開。先ずはその存在と調査意欲にビックリ。この地域で、明治17年7月1日から7日間、薩摩軍辺見十郎太率いる雷撃隊等2500名が官軍6500名を迎え撃っている。2ヶ月後、可愛岳から鹿児島への移動時に二回目の戦闘が行われ、先に薩摩軍が作った堡塁で官軍が待ち構えた。薩摩軍法に、士5人で伍となし、二つの伍で一小組とする、とある。堡塁間は15mから20m組毎集結壕あり。陸自みたい。薩摩軍の先込めのエンフィールド銃のことやエンフィールド銃を、一丁3円30銭で改良した官軍のスナイドル銃の事等、研究家の研究内容豊富で、次回楽しみに。ご質問、ご参加要望等ご連絡下さい。

土佐開犬の紹介

原田一信氏

3 闘技規則抜粋 土佐犬の勝負は、相撲のように倒れて負けとならず、ボクシングのようにポイント制でもない。いくら攻撃されても最後まで闘争心を失わない犬が勝利する。 一方的に優勢な攻撃を受けてもよく応戦し、規定の時間(通常30分間)に達すれば規定引き分けとなり、規定犬として

土佐開犬の横綱

の荣誉が与えられます。 一方的に優勢な攻撃をしても途中闘争心を失い闘争放棄して走り、相手犬がそれを追った場合は走った犬が負けとなる。 ※これは初心者の方への解りやすく説明した一例であるが、大略次の十項により勝負が決定されます。 泣き声・吠え声・セリ声。向かいセリ・走り・寝込み・押さえ込み・棄権謝り・威嚇・不戦勝により、決定する。 細部勝敗要領について説明したいのですが文章長のため割愛する事にしますが、要するに無声で闘争心あるのみ」とご理解ください。 4 体重別区分 大きく次の区分により各階級に分別します。

災害協定締結

知名支部

知名支部は、3月12日、知名町長室において知名町と 天規模災害時における隊友会の協力に関する協定」を締結した。今井力夫町長は、昨今は、想定外の災害が多々発生している。協定は町民にとって非常に心強く、安心につながる」と感謝の意を述べられた。支部としては、発足以来6年間、知名町が行う防災訓練には毎年参加し



協定締結後握手する今井町長と吉田支部長

超小型・小型・中型・中大型・大型・超大型 小さい犬は30kgから大きい犬は80kg近い犬までいるので、上記体重別に区分して闘技を行います。 各階級によるチャンピオン戦を実施して、各階級のチャンピオンを決定します。(九州大会であれば九州チャンピオン、全国大会であれば、全国チャンピオンとなる。) 通常の試合は、各階級内において、体重1kg以内で試合をします。 各大会における勝数及び闘技内容により、審議委員会の選考で大関、横綱と昇進します。 続きは次回掲載

息子の入隊

大崎支部

高校2年の秋、ポストに自衛官募集のパンフレットが投函されていたのを、二男が持って帰ってきました。その夜パンフレットを見ていた二男が空自のパイロットになりたいと言いました。 当時私は、陸自富士学校で勤務しており、二男の今後については、山梨県にある理学療法士の大学受験の方向で話が進んでいた矢先であり、まさか、二男が方向転換するとは家族内の誰も思っていまませんでした。 元々私の家族の中では私と長男は陸自少年工科

学校の出身であり、自分で決めて好きなようにすればと話をしました。暫くして二男は、パイロットの養成コース、航空学生」受験を決心しました。 航空学生の募集定員は全国で70名で、一次、二次、三次試験まであり 人生のいい体験・経験になるから、ベストを尽くしてチャレンジしなさいよ。」と激励しました。 結果、見事合格し平成18年4月第62期航空学生として空自防府北基地に入隊し、6年間の教育を終了後平成24年3月3等空尉に任官、その



堂園支部長二男の堂園雅孝ご夫妻

後日本の領空を守るF15戦闘機のパイロットで他国機の領空侵犯に対するスクランブル要員として日々任務の完遂に努めている。 親として今後もしっかりと日本の領空を護ってくれることを願っています。

「平田靱負翁」について思う

石神民男支部長

四 評定(作戦会議) 藩主島津重年公の御前における評定(作戦会議)では、議論沸騰し、家老の伊集院十蔵の、城を枕に討ち死に」の抗戦派が主流を占めたが、平田家老がおもむろに「この

度の幕府の命令は、筋は通らないが、静かに考えるに、四海同胞と云って日本国中は、皆兄弟と同様である。兄弟の内で水に苦しむ難儀をしていると知ったならば、これを助けるのが仁義を尊ぶ薩摩武士の本分ではなからうか?この際、幕府の命令の如何は、論外とし、治水工事に必死の働きをして、水難に喘ぐ無辜の住民を救済し、薩摩武士の誉れを千歳に伝えるのがお家安泰のもとではなからうか?」と条理を尽くした説論に抗戦派も翻意し、重年公の裁可を得た。

① 先見洞察の出来る人 これは、お家を守るといふことと彼の地の農民を救おうという名譽も残る、一石二鳥である。 仮に、籠城覚悟で幕府らばお家取り潰しは、免れず約550年続いた島津の家最大の汚点を残すことになる。 これだけは、絶対に避

越戦囲碁大会

県隊友会は、国分・隼人両支部の支援を受け、2月12日国分福祉センターにおいて第8回囲碁大会を、会員・家族等40人の参加を得て開催しました。 対局は、熱戦また熱戦の連続で大いに盛り上がりしました。 休憩時間には、久しぶりに逢い旧交を温めた会員、これからも県伝統行事として継続するには、他県隊友会との交流試合も必要ではないか」等活発な意見が出ました。



熱戦・熱戦の対局状況

これを機会に、囲碁愛好会員の隊友会での他分野での活躍を期待したいものです。 ◎成績優秀者 小松久男(国分支部) 吉田豊昭(国分支部) 春田博明(喜入支部) 下之園昭文(隼人支部) 常務理事 佐藤博 記

家族作文 ささやかな楽しみ

浜崎淳子氏

主人が自衛隊を退職し早10年、夫婦共に還暦を過ぎ人生に一区切りがついた今、楽しみといえれば4人の孫の成長と、主人は15年ほど前から体力と健康維持の目的で始めたジョギング、そして私は、昨年の仕事引退をきっかけに始めたウォーキングを日課とし、それぞれのペースで楽しんでいきます。 ウォーキングは天気次第ですが、毎回4キロほどの道のりを季節の移ろいを感じながら歩いたり最近では、今テレビで放映中の「プレバト」の俳句に感化され、遠くに見



マラソンに燃える夫の浜崎氏

また現役時代から交流があり、現在は熊本県在住の友人夫婦とも「マラソン」という共通の趣味で一緒に、鹿児島マラソン等参加し親睦を深めています。このようなふれあいも楽しみの一つです。夫婦共々これからも、健康に留意しながら続けていけることを願っています。 伊佐家族 浜崎淳子 記



盛り上がる村山会長等古希同窓4人

盛大に新年会

喜入支部は1月20日 県村山会長をお迎えし、15名で新年会を開催した。特に村山会長をはじめとする古希の同窓4人は一塊になり当時の話に大変盛り上がりがあった。最後は全員で同期の桜を合唱し楽しい一時を終了した。 春田支部長 記

◆国分支部 上村 雄三 松崎 好秀 唐釜 清己 野上 清己 ◆隼人支部 東中道 幸雄 岩永 榮夫 ◆始良支部

謹んでご冥福を

業務紹介

鹿児島防衛事務所

平成27年7月1日の鹿児島防衛事務所開所から、約2年半が過ぎました。今回は、防衛事務所の日々業務の一部を紹介いたします。

自衛隊の飛行場敷地の外にも、「周辺財産」と呼ばれる防衛省の土地がある事をご存知でしょうか。

各地方防衛局では、自衛隊等の飛行場の周辺住宅地等において、航空機の離発着などによる騒音対策として、騒音が著しい区域を対象に家屋等の移転を希望する方の土地



宿里祐二施設課長

を購入する「移転措置事業」を実施しており、この事業により購入した土地がいわゆる「周辺財産」であり、防衛省の土地として管理されることとなります。

また、移転措置事業で購入した周辺財産の中で特に騒音が大きいと指定された区域は、飛行場と住宅地との緩衝地帯として樹木を植栽し、緑地帯としての整備を行っています。

鹿児島県内においては、鹿屋市にある海自鹿屋飛行場周辺も移転措置事業の対象となっており、同飛行場周辺には滑走路西側の野里地区や同東側の田崎地区を中心に多くの周辺財産があります。

この周辺財産の管理も当事務所の業務の一部となっており、緑地帯の倒木等がないか逐次巡回し必要に応じノコギリ等を持参しての剪定等も実施

自衛隊生活

鹿屋島地本国分 抜擢センター

私が入隊したときっけは、高校3年の夏休みにテレビで放映された映画「連合艦隊」の中で、通信手が沈没しようとする戦艦の中で最後まで交信

しています。特に、台風等により周辺財産において倒木等の被害があった場合には、当事務所においては、同飛行場周辺へ急行し、鹿屋市役所や周辺自治会のご協力を頂き、被害状況の確認や倒木等の除去を行っています。

事務官等主体でありながら、現場作業員としての側面もある鹿児島防衛事務所をどうぞよろしくお願ひ致します。

鹿児島防衛事務所 施設課長 宿里祐二 記

青少年広報セミナーを担当して

鹿屋第1航空隊



鹿屋基地内でのセミナー実施状況

私は、第1航空隊の列線整備隊で勤務していますが、昨年7月24日から26日の3日間、中学生を対象とした青少年広報セミナーが実施され、私も班長補佐というセミナー受講生の担当として

参加する機会を得ました。ここではそのセミナーを通じて得た感想を紹介したいと思います。

当日基地に着いた受講生は元気がいいに、おはようございます！と挨拶をしながらも、少しの緊張と不安を抱えた様子で受付を済ませ、Tシャツと作業用ズボンに着替えて開講式に臨んでいました。

開講式後は、各班に分かれて総員起こし（起床）から消灯（就寝）まで自衛官と変わらない生活を体験してもらいました。自衛隊特有のベッドメイキングでは、受講生にそのやり方を教えるという事が、どれだけ大変なことか痛感しました。

セミナーの期間中、基地内の施設見学、P-3C哨戒機の体験搭乗、護衛艦の見学があり、特に体験搭乗後には、低空飛行や操縦席から見た風景について感動しながら話していた、受講生の姿が印象的でした。

また、護衛艦見学では実際に乗艦し、ヘリコプターやミサイルが搭載されているのを見て、とても興奮し、乗組員の隊員にたくさん質問をしていたのが印象的でした。

その他、課外（自由時間）においては、受講生同士のコミュニケーションを図り、団体生活の大切さを実感してもらいました。2泊3日という短い期間にもかかわらず、新しい友人と寝食を共にし、親睦を深め合っていました。

セミナーを通じて自衛隊の生活が体験できて良かった。、将来自衛官になりたい。、来年もセミナーに参加したい。といった感想が多く、班長補佐を経験できてよかったと思えました。

このような機会を得られたことで、私自身、自衛官の心構えや姿勢を見つめ直す良い機会となりました。

受講生は貴重な体験を積み、大勢の隊員に拍手で見送られながら鹿屋基地を後にしました。

彼らの成長した強い眼差しに期待を持ち、将来自衛隊員として職場で再

定年前の心構え

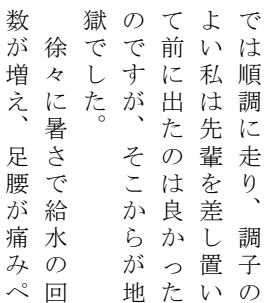
音響測定所

平成31年3月に定年退職を迎えるにあたり、海を仕事場としてきた海上自衛官としては、自分がこれまで経験してきた実績を活かす職業を探すつもりでしたが、第2の人生は狩猟という趣味を活かして、地域への貢献と自然環境の保全に従事

をしたいと思っています。私は、平成6年に広島県で猟銃・空気銃所持許可証及び第1種の狩猟免許を取得し、その後

仲間との出会いや貴重な経験を良い意味で活かし女性として、強く明るく美しく、社会に貢献したいと思っています。

鹿児島地本 福丸竜子 記



狩猟服姿の藤澤修氏

現在までの狩猟実績は猟銃や空気銃を使用した狩猟がほとんどで、捕獲したイノシシやシカ等を狩猟仲間との食事に利用しています。

定年後は、広島県安芸高田市に居住し、再就職の傍ら自然に恵まれた地域での狩猟及び駆除に活躍し、野生動物による被害削減に貢献しようと考えています。

また、最近では全国的に駆除した野生動物のジビエ料理がはやっており各市町村等や地域が動物の解体場所の設置やジビエ料理店への提供といっ

では順調に走り、調子のよい私は先輩を差し置いて前に出たのは良かったのですが、そこがが地獄でした。

徐々に暑さで給水の回数が増え、足腰が痛みペー

が落ち始めたときに先輩が一声かけながら、私の横を過ぎていきました。必死について行こうと思ったのですが身体がついていかず、諦めて歩き出す始末。

昨年の夏に援護センターで勤務する先輩に、今年抽選に当たれば3回連続だわ」と、鹿児島島マラソンの話を聞き、きっかけはそこからでした。

私はフルマラソンの経験が5回ほどあるのですが、約20年前の事で年々体力も落ちてきている自分に、申し込む勇気はありませんでした。が、今年、成年年男自衛隊に入隊して30年と節目で、自分を変えたいと思い、先輩も来年定年、現

3月4日日本番当日、経験者の先輩たちのアドバイスを受けながら、スタートラインへ移動し、参加者の多さに圧倒されながらも8時スタート。

天気が予想以上の快晴で暑さが心配される中、先輩と私は20キロ付近

途中で、何でお金を払ってまでこんな思いを、と後悔していましたが、終わって先輩たちと合流すると、来年の鹿児島島マラソンの話をしている自分がありました。

沿道で応援してくれた方々はもちろんの事、今の自分を変えたいと思っていた私にきっかけをく

た、農作物などの被害の削減に向けた取り組みが盛んになってきています。今後は、定年までに向上させ、安全で適正な狩猟の実践に取り組みむことが、第2の人生の出発点と考えます。

防衛省団体扱い自動車保険(指定店)
この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

なんと19%割安です

*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………

連絡先: **099-229-4103**
FAX: **099-229-5176**

〔引受保険会社〕
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島
※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇康 (隊友会員)

NPO JPSSO 霧島支部

自衛隊OBの「技と力と真面目さ」を待ってる人がいます

隊友会の有志がメンバーです。集まりませんか！
被災地のおたすけを準備してます。
いつもは、町の便利屋さん！体と技を維持してます。!

草刈、施設管理、引っ越し手伝い、農作業、剪定、家の造作手伝い等

〒899-4322 霧島市国分福島2-10-25
tel 080-4053-1665
E-mail haruka_jiji@yahoo.co.jp

●ご予約・お問合せは……